



ボランティア活動での出会いを通して 明るく前向きに生活

齊藤 ^{みちこ} 紀子さん (太美)

定年退職後、当別へ引っ越してきて5年。平成13年10月からゆとろの一角に身近なものを利用した展示や、町内でボランティア活動を続けています。

なぜ「ゆとろ」で展示をしようと思ったのですか

平成13年4月に第2の人生を明るく前向きに過ごそうと、当別町に引っ越してきました。

働きながら続けてきた「お花」で当別の人に何か伝えることができればと考え、ボランティアセンターの方にゆとろの一角にスペースを用意していただき、身近なものを生かした展示を始めました。

このスペースでは「もったいない」ということを考え、自分で育てた花のほかに、よし、がまの穂、たんぼぼの綿毛など家の周りで身近に手に入れることができるものを使って、見た人が楽しめる作品に

なるよう心がけて作成しています。普段は、捨てたりするものでも、使い方によってはこういう作品ができることや、自然のものを大切にすることをPRしていきたいです。

町民の方が通りすがりに見て「いいな」と共感してくれると嬉しいです。

ボランティア活動もしているのですね

現在は、かすみ草の集いや長寿園でちぎり絵教室を手伝うボランティアをしています。

ボランティア活動では、頭ごな

しにものを言わない、目と目を合わせながら話すなどコミュニケーションの方法に気を付けていますが、楽しく活動することが1番だと思います。

無理をするとストレスも溜まり、続かないので、自分のできる範囲で活動することが大切です。

この活動を通して町内の様々な方と出会い、その方と一緒に行動することで、自分自身の生きがい作りにもつながり、感謝しています。

みなさんも、気軽にボランティア活動に参加して、人との出会いを通して前向きに楽しく生活を送ってみてはいかがでしょうか。

人の動き 5月1日現在 ()は前月との比較

人口	19,747 人	(2人減)
世帯	7,760 世帯	(38世帯増)
男	9,658 人	(11人減)
女	10,089 人	(9人増)



今月の表紙

5月19日に青山中央地区、北海道医療大学の森で北海道医療大学の新入生が植樹祭を実施しました。

青山の自然の中で楽しそうに植樹する学生の姿が印象的でした。何年か後に満開の桜を見るのが楽しみです。